上石小だより

思いやりのある

～　やさしさ　　かしこさ　　たくましさ　～

第　４　号
令和５年６月３０日
練馬区立上石神井小学校
校　長　　片山　順也

「賢さ」と「努力」

副校長　　藤野　奈津恵

先日は今年度初めての学校公開に多くの方に来校していただきありがとうございました。各学級でお子様の様子や学習の成果を感じていただけたことと思います。

さて、以前、私はラジオ番組で当時の諏訪東京理科大学教授、篠原菊紀さんの講座を偶然に聴くことがありました。諏訪さんは脳科学と健康教育学が専門の方でした。ラジオ放送の内容で興味をひかれた実験の話がありましたので紹介したいと思います。

子供たちに実験をしました。比較的簡単な図形パズル問題のあと、半分の子供には「９０点だ。あなたは頭がいいね」といった具合に賢さや素質をほめ、残りの半分の子供には「すごい、９０点だ。一生懸命やったね」など努力をほめたそうです。（２つのグループの成績は均等）

次に、さらに２種類のパズルを与え、好きな方をやりなさいと伝えました。一方は最初のパズルより難しいけれどやれば勉強になるパズル、もう一方は最初のものと同じように楽にできるパズルだと説明しました。結果、賢さをほめられた子供のほとんどが、楽にできる方を選んだそうです。その一方で、努力をほめられた子供の９割近くが難しいパズルにチャレンジしたそうです。

つまり、努力をほめられた子供は、さらに努力を認められようと難問にチャレンジするが、賢さをほめられた子供は、自分を賢くみせるために、または賢いという価値を守るために、間違うのをおそれるようになっている、というお話でした。

さらに、パズルの成績を見る機会を与え、自分より成績が良かった人の答案を見るか、悪かった人の答案を見るかを選ばせました。すると、努力をほめられた子供たちは、自分よりよい成績の答案を見ようとする傾向が強く、逆に賢さをほめられた子供たちは、ほぼ全員自分よりテストの出来が悪かった子供の答案を見て、自分より出来の悪い者を見付け、自尊心を守ろうとする、という話もありました。

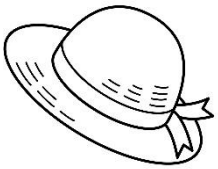
お子様が学習課題に取り組んだことに対して、今後の力を伸ばすためにも言葉かけが大切なものとなります。学校でも各ご家庭でも、子供たちが自信と達成感を味わうことができればと思います。

７月行事予定

３(月)　５時間授業（２～６）
４(火)　５時間授業
６(木)　情報モラル講習会（５）
８(土)　学校公開
10(月)　委員会
11(火)　保護者会（１、２）
13(木)　避難訓練　保護者会（３、４）
14(金)　保護者会（５、６）租税教室（６）
18(火)　連合水泳記録会（６）
19(水)　連合水泳記録会予備日（６）
　　ふれあい環境教室（４）水泳指導終
20(木)　１学期終業式　給食終　４時間授業
21(金)　夏期休業日始　２学期始
21(金)、24(月)～27(木)　個人面談

８月行事予定

14(月)～17(木)　学校休務日
31(木)　夏期休業日終



９月行事予定

１(金)　２学期始業式　給食始　４時間授業

第６学年　岩井移動教室

５月２９日から３１日まで移動教室に行って参りました。小学校生活2回目の移動教室は、岩井少年自然の家で2泊3日を過ごしました。１日目は、朝からあいにくの雨。出発式は体育館で行い、その後は千葉市科学館に行きました。科学館には、音の伝導やスケルトン車など、子供たちの興味・関心が高まる展示がたくさんあり、子供たちは目を輝かせて見学、体験を行っていました。午後は干物作りを行い、海方面ならではの体験ができました。

２日目の午前中は鴨川シーワールドに行きました。行動班で声をかけ合って、ショーを見たりおみやげを買ったりする子供たちはとても楽しそうでした。午後は海岸遊びへ出かけました。岩井海岸には、たくさんの貝が落ちていて、きれいなものや珍しい形の貝を見付けたときの子供たちのうれしそうな表情が印象的でした。２日目の夜はキャンプファイヤーをしました。みんなで火を囲み、歌ったり踊ったり、ゲームをしたりと楽しい思い出を作ることができました。

３日目は、マザー牧場に寄り、たくさんの動物と触れ合いました。事前に行動班ごとに相談して決めた場所を中心に回り、あっという間の２時間を過ごしました。自然の偉大さを感じ、みんなで考え、協力し、楽しみ、絆をより一層深められた2泊3日になりました。また、宿舎の方や保護者の方々など、たくさんの方の支えがあっての３日間だったことも感じ取れたようです。移動教室で学んだことを残りの小学校生活につなげ、生かせるよう指導していきます。

校内研究について

昨年度までの2年間は、本校では「学習でタブレットを活用し、よりよい授業づくりに向けて考え、実践する」という研究主題のもと、各学年で研究授業を行い、教員のタブレット活用能力を高めてきました。今後も研修を続け、授業の中で有効的に活用する方法を学んでいきます。

そして、今年度は教科の研究として、「体育科」を研究することになりました。内容としては、友達との関わりを通して運動を楽しむことを中心に研究を進めていきます。今回の研究テーマを決める際には、「自分の思いを相手に伝えたり、相手の意見を認めたりしながら、さらに考えを深められる子になってほしい。」「体を動かすことの楽しさを知ってほしい。」という教員の思いがありました。そこで、体育科の授業の中に、話し合い活動や教え合いなどの活動を取り入れ、友達と関わりながら運動をすることで、自分の力をさらに高めたり、課題解決のための方法を導き出したりして、友達と体を動かすことを楽しむ児童の育成を目指すことになりました。よって、今回の研究主題を「活動を工夫し、運動を楽しむ児童の育成～友達との関わりを通して～」と設定し、年間6回の研究授業を行います。

今回の研究を通して、子供たちが運動する楽しさを知ったり、コミュニケーション能力を身に付けたりして、さらに学校生活が充実したものになるよう指導方法を研鑽してきます。

７月の生活目標　　けんこうな体や心をつくろう

今年の夏も暑い日が続くことが予想されています。夏を元気に乗り越えていくために、次の点に気を付けて、毎日を過ごしてほしいと思います。

・水分補給、汗の始末をする。　・睡眠をしっかりとる。　・栄養、休養をしっかりとる。

学校でもこまめに水分をとり、必要に応じて汗の始末をするように呼びかけていきます。水筒や汗ふきタオルを毎日持参するよう、ご家庭でご準備くださいますようお願いいたします。

今年度から学校生活におけるマスクの着用については、個人の判断に委ねられています。とはいえ、登下校時、休憩時間、特に体育の授業では熱中症のリスクが高まりますので、マスクを外すよう声かけします。ご家庭でも熱中症のリスクが高まる場面においては、外して過ごすよう話していただけると幸いです。ご協力よろしくお願いいたします。